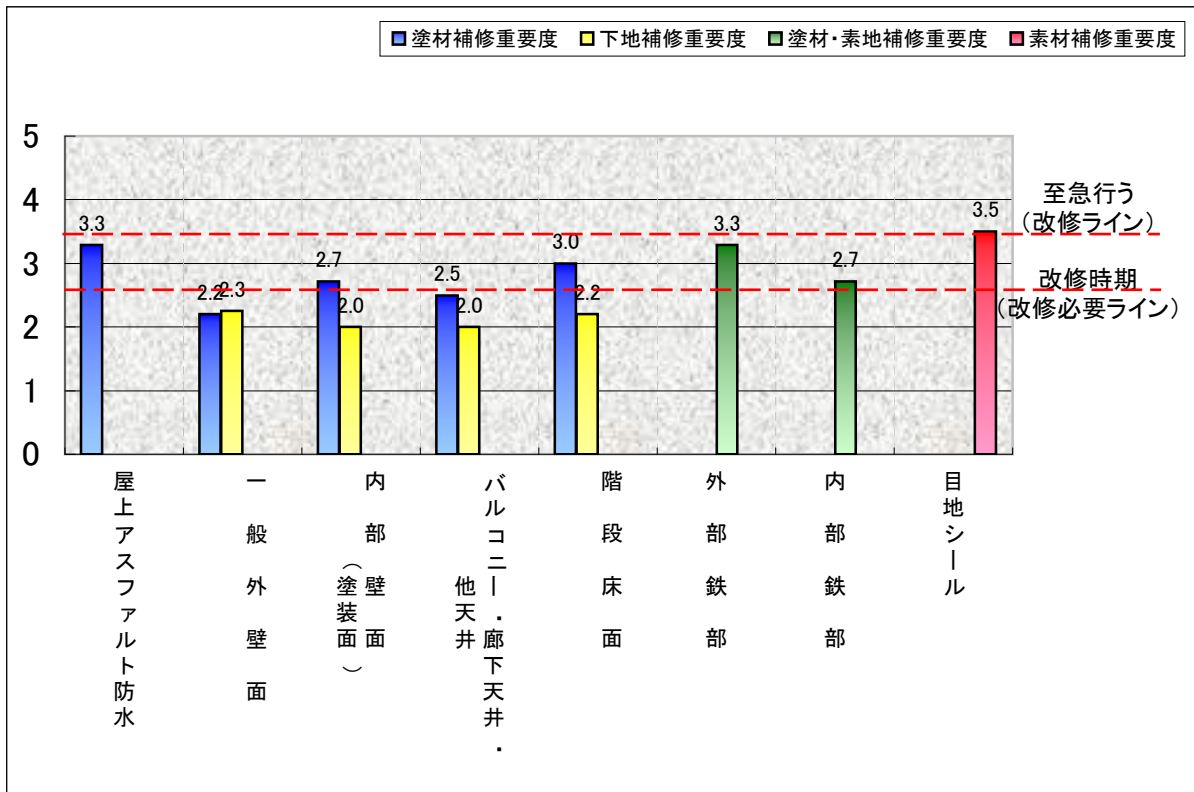


部位毎の劣化状況

1) 補修重要度とはそれぞれの劣化現象が、塗材及び下地コンクリート（または素地）に対する影響力のレベルの違いによって、改修工事の必要性をより判定し易く、ランク分けしたものである。

2) 各部位ごとの結果



3) 補修重要度に対する改修時期の設定

補修重要度	改修時期
5	各々の劣化現象が顕著に認められ、塗材・下地(又は素地)に要求される機能・性能が喪失しており、居住空間を安全に確保出来ない恐れがあるため、大至急改修工事が必要です
4	各々の劣化現象がかなり認められ、塗材・下地(又は素地)に要求される機能・性能が発揮出来ないため、至急に改修工事が必要である。
3	各々の劣化現象が認められ、部位によっては塗材・下地(又は素地)に要求される機能・性能は発揮出来ない恐れがあり、改修工事が必要である。
2	各々の劣化現象はわずかに認められるが、塗材・下地(又は素地)に要求される機能・性能は発揮されており、直近の改修工事は必要ない。
1	各々の劣化現象がほとんど認められず健全な状態であるため、改修工事は必要ない。